

平成30年3月期第2四半期 決算説明資料

証券コード: 1722
ミサワホーム株式会社

2017年度 上期総括と下期方針



2017年10月1日
ミサワホームは
創立50周年を迎えました

「感謝」と「貢献」

●新中期経営計画の位置づけ

次の50年に向けて継続的に成長し
企業価値を更に高めるための第1歩を踏み出す3カ年とする。
「First Step For NEXT50」

●新中期経営計画の基本方針

「戸建住宅事業」の規模を維持しつつ
賃貸住宅を中心とした**「資産活用事業」**や**「リフォーム事業」**の
既存事業を拡大し
新たな**「まちづくり事業」**や**「海外事業」**において**積極的投資**を行い
2019年度の売上高4,450億円を目指す

●経営戦略

- トヨタホームとのシナジーの最大化を目指す
- ミサワホームのDNAを再評価し、ブランド力の維持・向上を図る
- コストダウンの推進等により財務基盤の強化を図る
- 適切な「人事戦略」と「働き方改革」の推進により、ES向上を図る

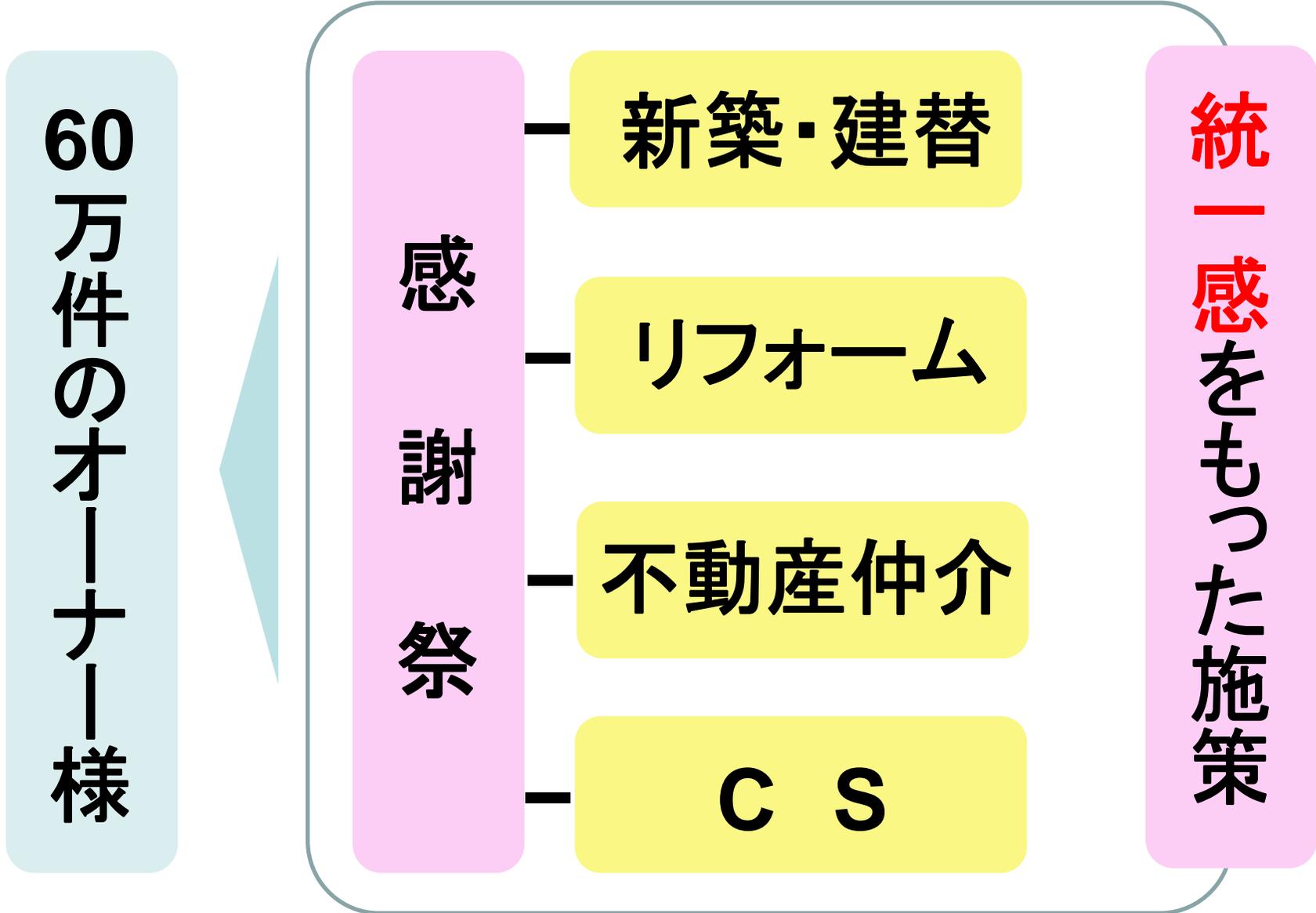
●事業別戦略（新セグメントへ移行）

- 戸建住宅事業：注文住宅、分譲住宅（土地売上含む）
- 資産活用事業：賃貸住宅、特建
- リフォーム事業：戸建住宅リフォーム、建築物のリノベーション 他
- まちづくり事業：コンパクトシティ型不動産開発、マンション、賃貸管理、
既存住宅仲介、買取再生販売 他
- 海外事業：オーストラリア

「感謝」

60万件的オーナー様に向けて

■ 60万件的オーナー様に向けて



<宣言>

変わらないために、変わり続けます

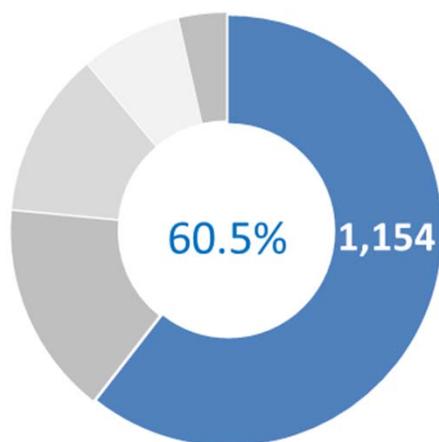
<統一スローガン>

いまミサワホームは、
すべての生活をデザインする企業へ。



「貢献」

先端の技術・商品開発や
街づくりで、社会に貢献

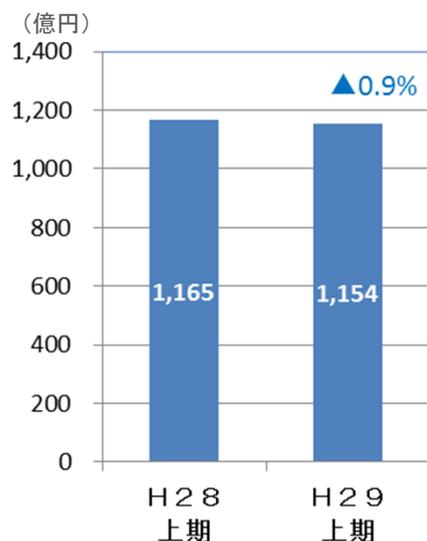


【新商品】

- 新構法センチュリーモノコックの「**CENTURY Primore**」(4月)
- 「**MJ開口フレーム**」採用の耐震木造住宅(10月)

【新規部品・運用】

- 宅配ボックス内蔵玄関ドア「**CONSIGNEEドア**」(4月)
- IoTを活用したライフサービス「**LinkGates**」(4月)
- 微気候アイテムの「**ドリップルーバー**」(7月)
- 微気候デザイン効果の見える化「**Vikiなび**」開発(7月)



○センチュリーモノコックの「CENTURY Primore」



GOOD
DESIGN
AWARD
2017



「120mm厚パネル」



センチュリーモノコック外観



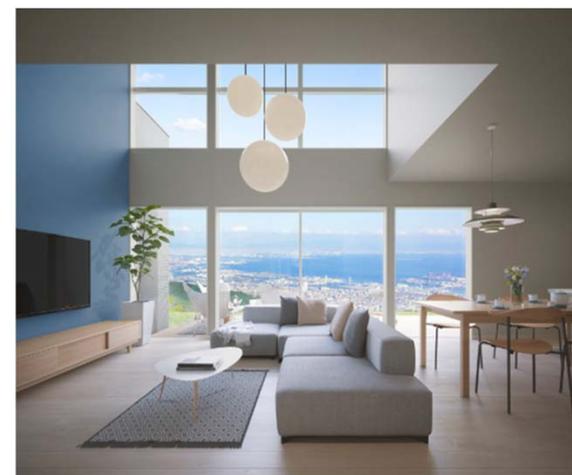
センチュリーモノコック内部

○「MJ開口フレーム」採用の耐震木造住宅「MJ FRAME」

- 大開口・大空間と高耐震を両立する設計が可能な「MJ開口フレーム」を新たに採用
- 最大有効幅約5.7mの大開口で、開放感あふれる空間を提案、2台駐車も可能に
- 大開口設計としながらもZEH断熱基準に対応できる高断熱性能を標準仕様に設定
- 今後も「MJ FRAME」シリーズとして新たな提案型モデルを展開



モデルタイプ 外観イメージ



「MJ開口フレーム」使用例

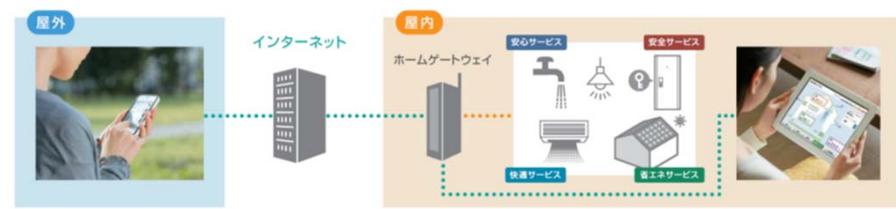
■戸建住宅事業

【新規部品・運用】

●宅配ボックス内蔵玄関ドア「**CONSIGNEEドア**」(4月)



●IoTを活用したライフサービス「**LinkGates**」(4月)



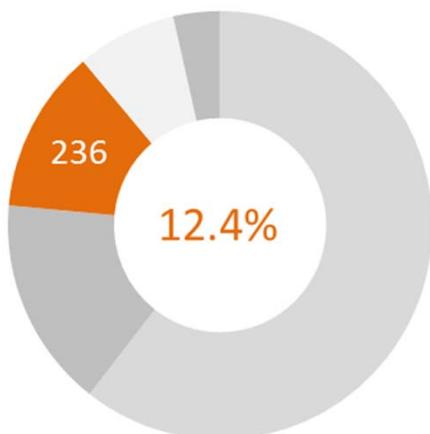
●微気候アイテムの「**ドリップルーバー**」(7月)



●微気候デザイン効果の見える化
「**Vikiなび**」開発(7月)

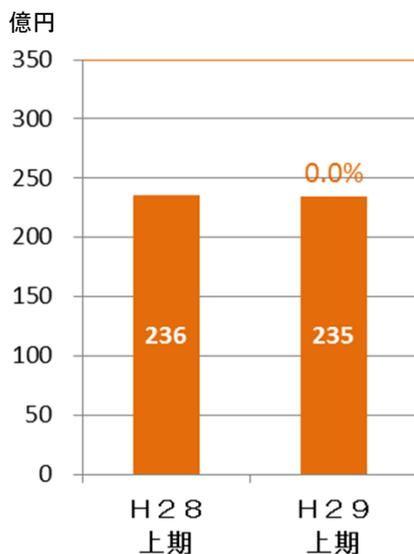


● 土地オーナー向け資産活用として 「シェアハウス」で一括借上システムを提案



「belle philia(ベル・フィリア) 結」(東京都杉並区)

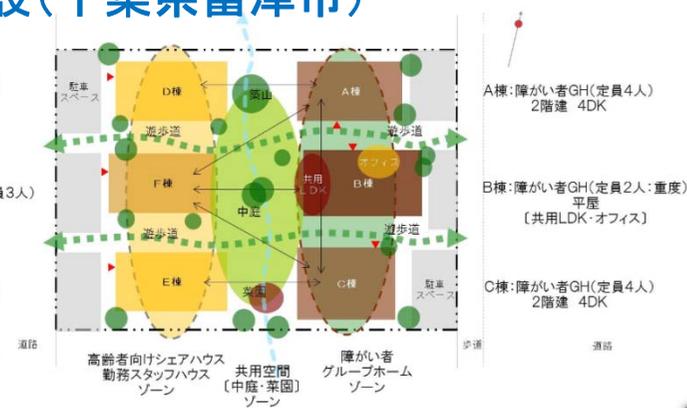
● 「障がい者グループホーム」開設(千葉県富津市)



D棟:シェアハウス(定員4人)
2階建 4LDK
〔障がい者のご家族向け〕

F棟:勤務スタッフハウス(定員3人)
2階建 3DK
〔職住隣接〕

E棟:シェアハウス(定員4人)
2階建 4LDK
〔障がい者のご家族向け〕

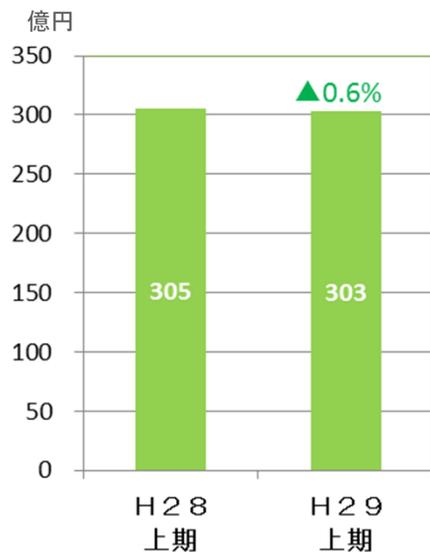
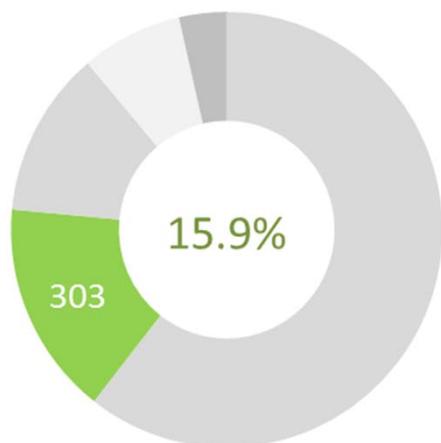


● 「ペット共生型」の一戸建賃貸住宅の提案

第1弾「フレンチブルドックと住む家」(東京都多摩地区)



●初台「リファイニング建築」第1弾 完成(10月)



解体・補強



10月末完成(完成予想図)

●「健康リフォーム」の提案(下期)

○「健康リフォーム」

- 「快適性能」×「暮らし豊かデザイン」の6つの切り口でリフォームメニュー提案
- 既存住宅を新築同様レベルにすることはもちろん、これまでの不安・不満を解消し心身ともに心地よい暮らしをデザイン

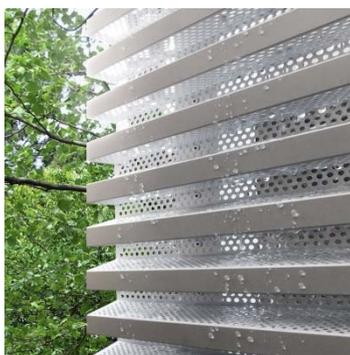
温熱環境
空気質
安全性

快適性能

×

暮らし豊か
デザイン

インテリア
音・光
プランニング



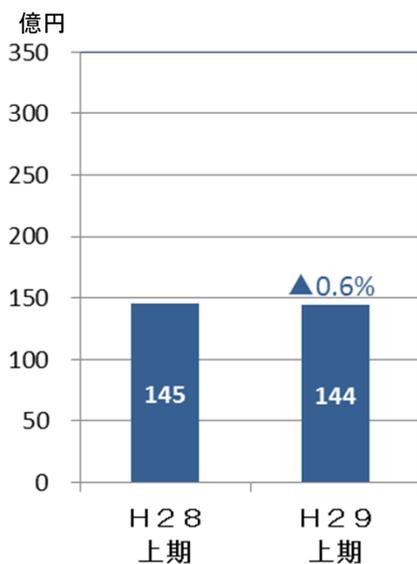
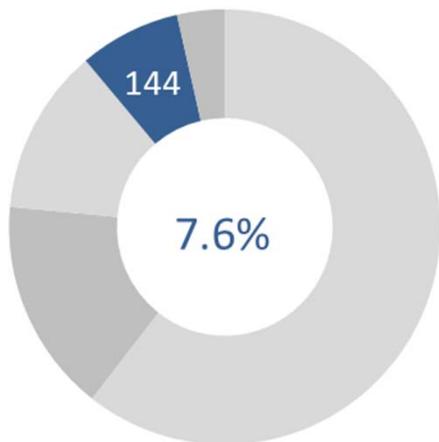
ドリップルーバー

新しい暮らしの創造



間接照明イメージ

■まちづくり事業



●千葉県浦安市東野地区の「コンパクトシティ型不動産開発（複合商業施設）」を着工



●藤沢市等とのスマートウェルネス拠点「PFI事業」

●「まちづくりブランド」の展開

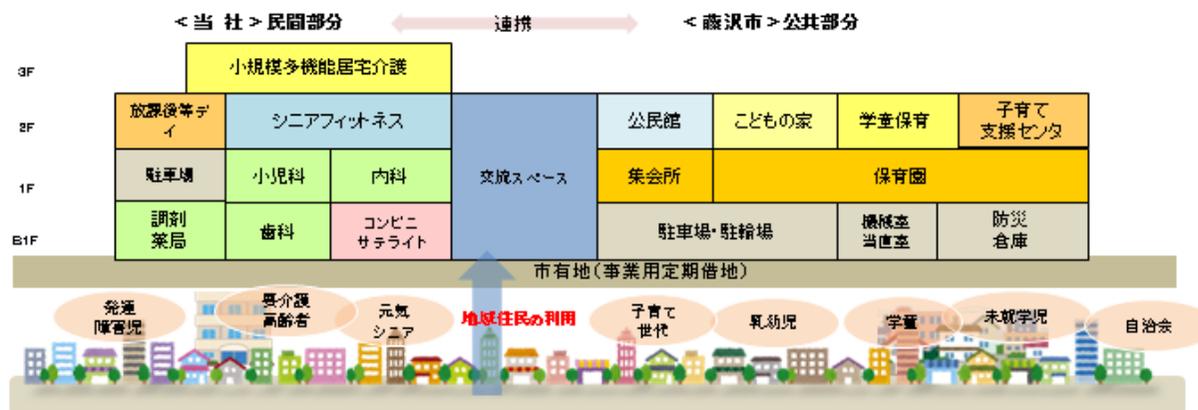
○藤沢市等とのスマートウェルネス拠点「PFI事業」

- 市の老朽化施設の解体に伴い、行政サービス機能を含む公共施設と民間収益施設を一体整備
- PFI事業者として特別目的会社（SPC）の統括管理、設計監理のほか、民間収益施設を保有
- 多様な世代が交流し、安心して健康に暮らせるスマートウェルネスを実現する拠点づくり



■計画概要

- ・計画地：神奈川県藤沢市藤が岡二丁目3番1 他
- ・構造・規模：RC造、地下1階建、地上3階建
- ・延床面積：4,587.31㎡



■まちづくり事業

○まちづくり事業において3つのブランドを展開

- 「明日を楽しく」「明日を元気に」の思いを込めたまちづくり事業において積極的に使用
- 「ASMACI」「ASMACI MAISON」「ASPRIME」の3つのブランドを用途に応じて展開
- 未来志向で地域に貢献するまちづくり事業を推進し、同ブランドの積極展開を図る



ミサワホームが開発・保有し、複数の機能を持つ
多世代が集う複合商業施設

ASMACI MAISON

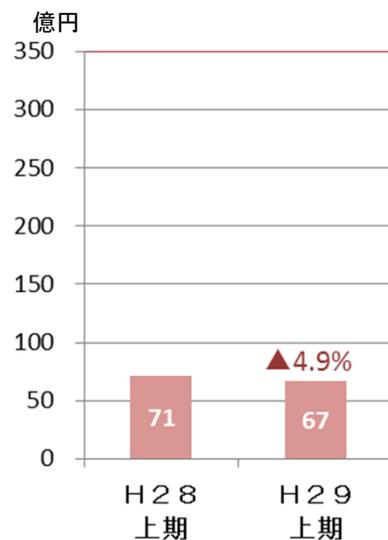
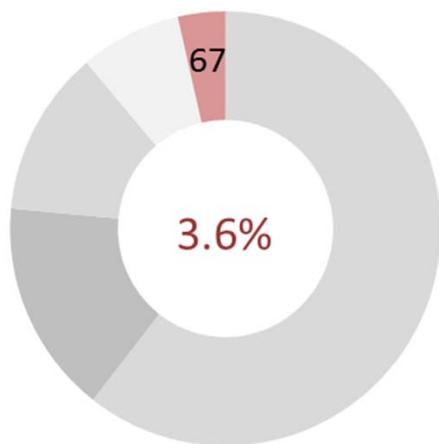
複合商業施設ASMACIの中にあり、
複合のメリットを享受できる賃貸住宅

ASPRIME

ミサワホームが保有する開発型賃貸マンション



■ その他事業



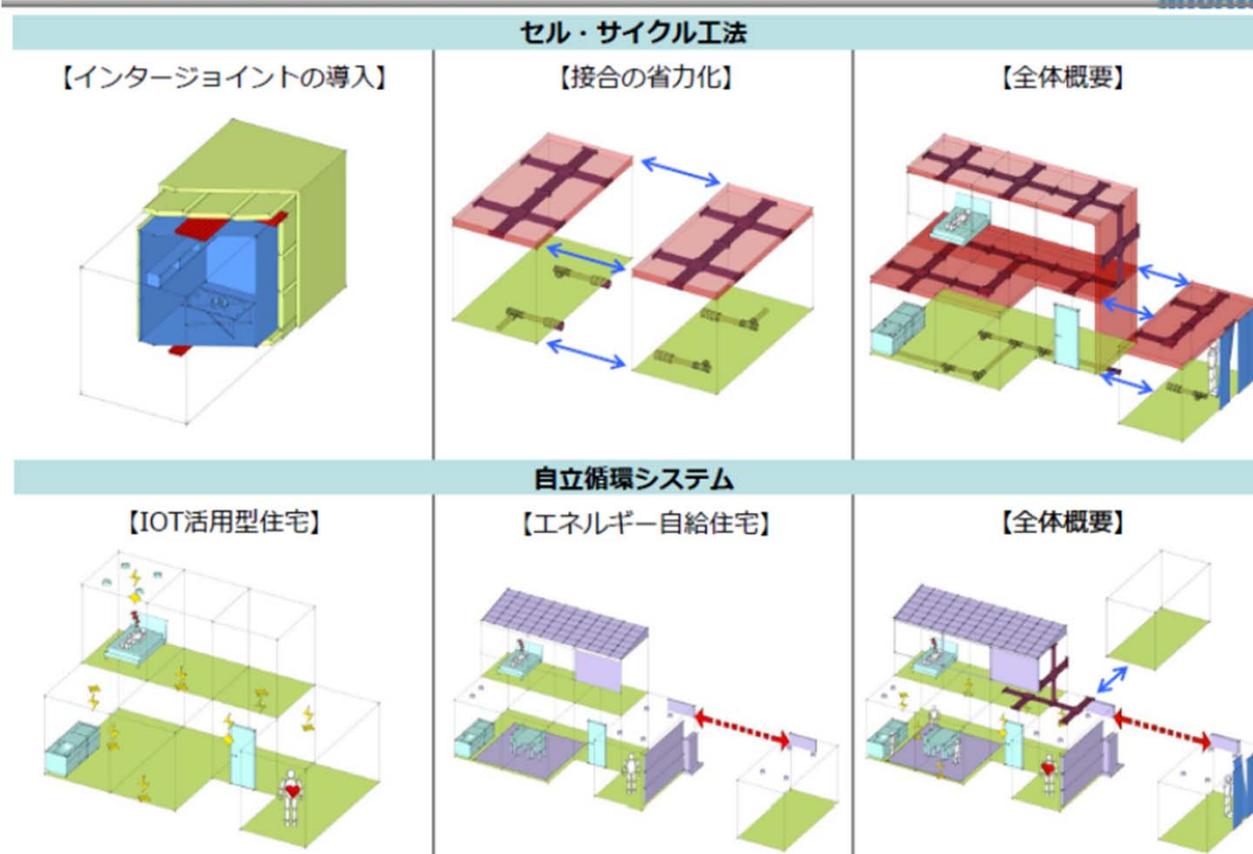
- 月面居住を目指した**JAXAへの提案**が採択
- ノンリコオプション付き「**ミサワ ライフデザインシステム**」
- 住宅型有料老人ホーム「**在宅ホスピス南柏**」
- 11年連続「**キッズデザイン賞**」受賞
- 28年連続「**グッドデザイン賞**」受賞
- 「**BR働き方改革推進室**」を設置
- オーストラリアにおける**海外事業展開**

○ JAXA（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）の提案募集※に選定

- 建築の省力化と自律循環システムによる持続可能な住宅システムの開発
- 約半世紀にわたり南極で培った工業化住宅の技術とノウハウが評価
- 月面の有人基地への応用を視野に今後3年かけて研究・開発

■ 持続可能な住宅システムの構築（全体計画図）

MISAWA



※ 「太陽系フロンティア開拓による人類の生存圏・領域拡大に向けたオープンイノベーションハブ」

○ノンリコオプション付き「ミサワ ライフデザインシステム」

- 自宅を“貸す”“売る”に「かえせるオプション」による“返せる”仕組みを加えた新システム
- 「かえせるオプション」は一定条件のもとでJTIが住宅ローン返済を引き受ける仕組み
- 業界初の実質的ノンリコース化による新しい住宅取得スタイル“返せる所有”を提案
- さまざまな暮らしの変化に対応でき、万一の際にはセーフティネットとしても機能

家を建てた後に起こりうるさまざまな暮らしの変化に対応!



- 突然の海外転勤が決定。**
いまの家はどうしよう…。
- 思い切って会社を退職。**
地元に戻って独立します。
- 親の稼業を継ぐことになったので実家に帰ります。**
- 子どもが独立したので、**
便利な都心に住み替えたいな。
- いずれは田舎暮らしで**
ゆっくりと過ごしたいです。
- 老後は子どもの手を借りず、**
環境のよい施設に入ろうかな。

ミサワライフデザインシステム

- 貸せる**

移住・住みかえ支援機構(JTI)の「マイホーム借上げ制度」を活用すれば、最長50年間にわたって安定した家賃収入を得られます。
- 売れる**

「スムストック」を活用することで、一般査定より高く売却できます。さらに、アシュアブルローンの併用で、より有利に売却できる可能性もあります。
- 業界初 / 返せる**

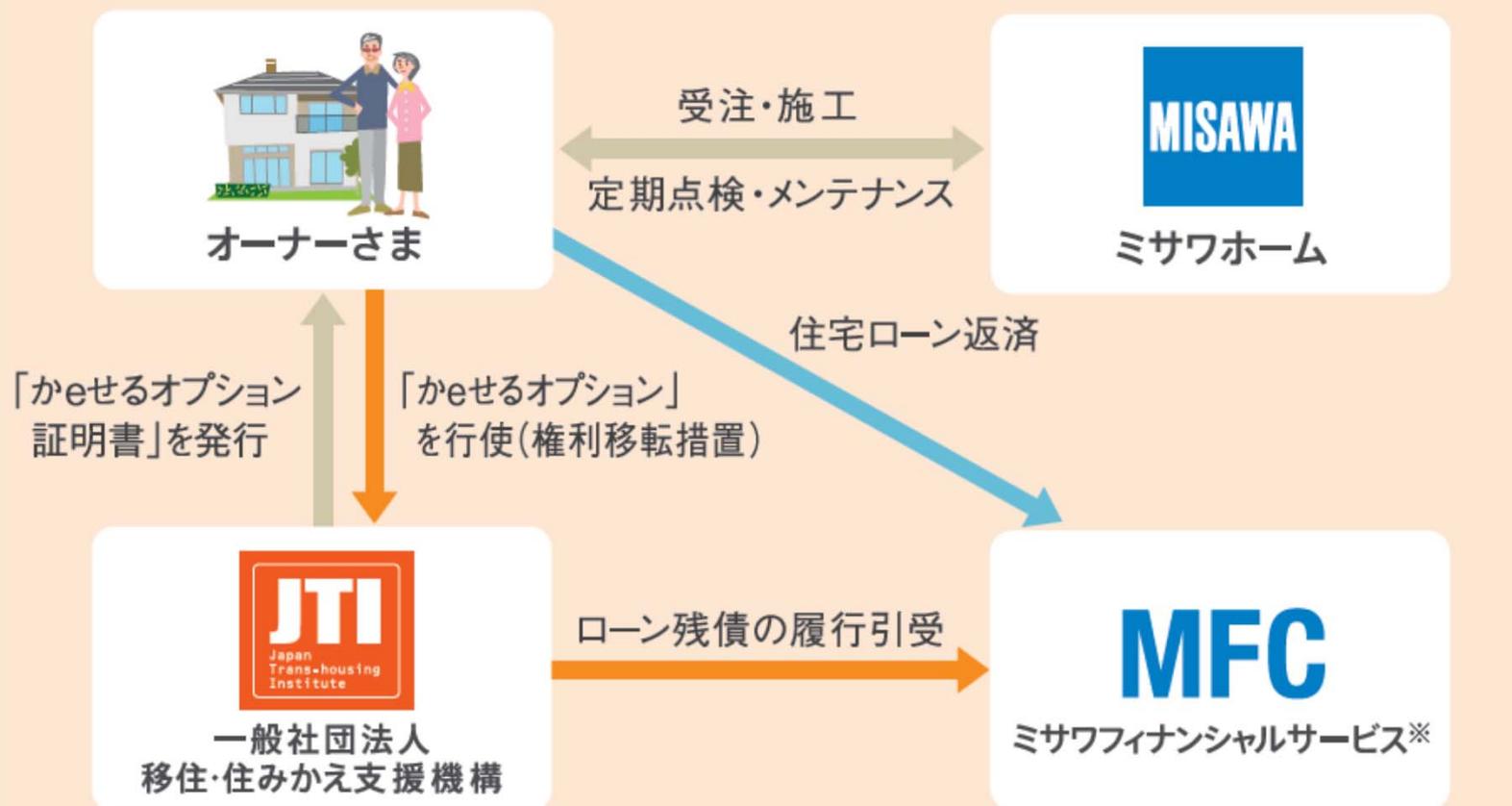
移住・住みかえ支援機構(JTI)の「かえせるオプション」なら、いざという時にJTIに住宅ローン返済を肩代わりしてもらえるため、多彩なライフデザインに柔軟に対応できます。
- 資産価値の高い家だから / 住み継ぐ**

ミサワホームは長期優良住宅に標準で対応し、〈貸せる〉〈売れる〉〈返せる〉に幅広く対応できる資産価値の高い住まい。長期保証制度やアフターサービスによって、世代を超えて住み継げます。

■ その他事業

■ 「かeせるオプション」スキーム

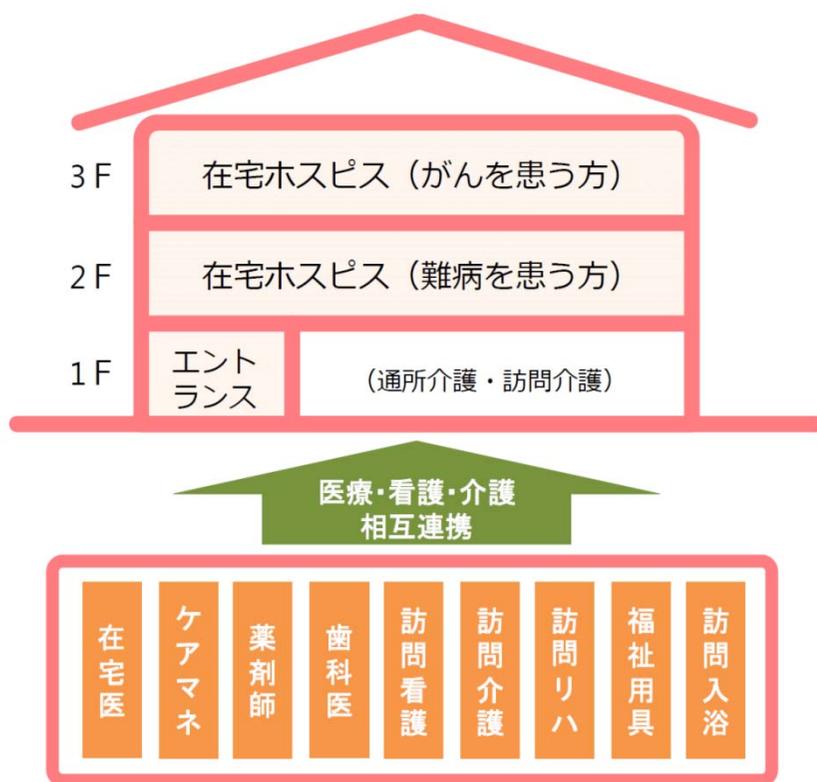
→ 「かeせるオプション」を行使しない場合
→ 「かeせるオプション」を行使した場合



※住宅金融支援機構の業務委託を受け、住宅ローンの貸付・回収業務を実施。

○住宅型有料老人ホーム「在宅ホスピス南柏」を開設

- 末期がんや難病などを患い、緩和ケアを望む方を対象とする住宅型有料老人ホーム
- 在宅ホスピスのノウハウを持つソニーグループのエムスリーナースサポートと連携
- 周辺の医療機関や介護事業所と連携して千葉県柏エリアでの地域包括ケア実現に貢献



サービスの提供イメージ



居室



エントランス



建物外観

■その他事業

○11年連続「キッズデザイン賞」受賞



「Famalink ZERO」



「コビープリスクール つなしま」 「コビープリスクール しゃくじいだい」



子どもたちの
安全・安心に配慮した
建具「自動ドア」



「マミーズプロジェクト」



○ 「マミーズプロジェクト」 男女共同参画担当大臣賞受賞

- ママ社員がスキルを活かし、いきいきと働くための社内プロジェクト
- ミサワホーム（株）として初めて、キッズデザイン賞の上位賞を受賞
- 2017年の全受賞作品298点から1点のみが選出される上位賞



■ その他事業

○ 28年連続「グッドデザイン賞」受賞



木質住宅新構法「センチュリーモノコック」



工業化住宅「CENTURY Primore」



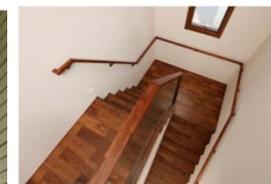
「URBANCENTURY」
(錦糸町モデル)



ルーバーパネル
「ドリップルーバー」



宅配対応玄関ドア
「コンサイニードア」



「木質手すり」



次の50年を担う人材と職場づくり



「働き方改革」

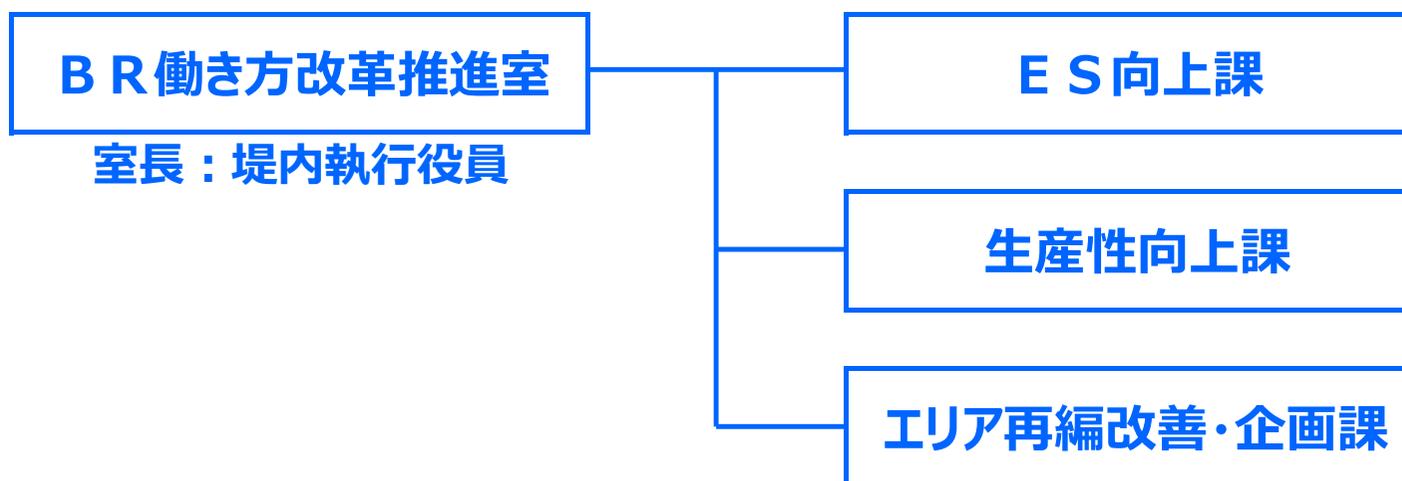
- ・全ての社員が生産性高く、いつでも・どこでも・いつまでもいきいきと働くことができる総合改革
- ・働き方における建設業のリーディング・カンパニーへ

- (1) 従業員満足度の向上 ⇒ CS向上・業績向上へ
- (2) 生産性向上 ⇒ 労働の質・プロセス改善
- (3) 首都圏・東海エリア再編の達成度検証とフォロー

本年8月1日付で「B R働き方改革推進室」を設置

(B R : Business Revolution)

「E S向上課」、「生産性向上課」、「エリア再編改善・企画課」の三課により、営業本部・関西中部営業本部のメンバーも参加して取り組みを開始



まずはミサワホーム本体から「働き方改革」の取り組みを始め、モデルディーラーを定め、順次グループ全体で取り組みを開始
(2019年度を目処に完了)

■ 海外事業展開

- オーストラリアでのトライアルを終え、新たなステップに
- 現地法人との資本業務提携を進める
- 新たな取り組みとしてトヨタホームと他地域への進出を検討

オーストラリア



「貢献」

トヨタホームとの連携による開発

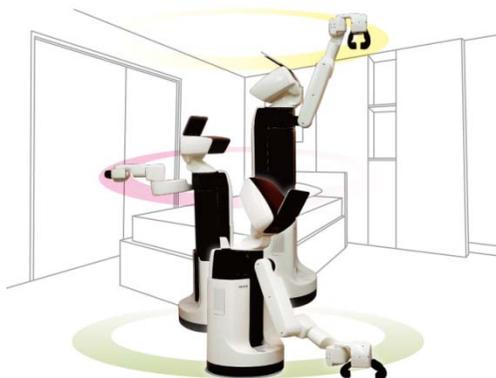
■トヨタホームとの連携（6つのテーマ）

テーマ	主な内容
技術・商品開発	<ul style="list-style-type: none">● 中長期テーマの共同研究推進 （IoT、AI等の住宅情報やEV技術の導入など）● TM住空間戦略室の活動を通じた収益改善
設計・建設	<ul style="list-style-type: none">● 設計業務の標準化・効率化を共同推進● 施工体制の相互活用
調達	<ul style="list-style-type: none">● 調達部門の人材交流深化・共同調達、仕様標準化の推進
生産・物流	<ul style="list-style-type: none">● 生産エリア毎に生産連絡会を新設● TM生産物流企画室を新設し、一体運営を企画推進
販売	<ul style="list-style-type: none">● 地域毎販売会社間・トヨタホーム法人営業部との連携強化● 首都圏でのマンション共同プロジェクトの推進
システム	<ul style="list-style-type: none">● バックヤード（販売・生産・物流・建設）におけるシステムの相互活用

■トヨタホームとの連携（開発テーマ）

TOYOTA

● パートナーロボット



● スマートモビリティ



DENSO

Crafting the Core

● エコキュート



● リチウムイオン蓄電池



AISIN GROUP

For a Better Tomorrow

● エネファーム



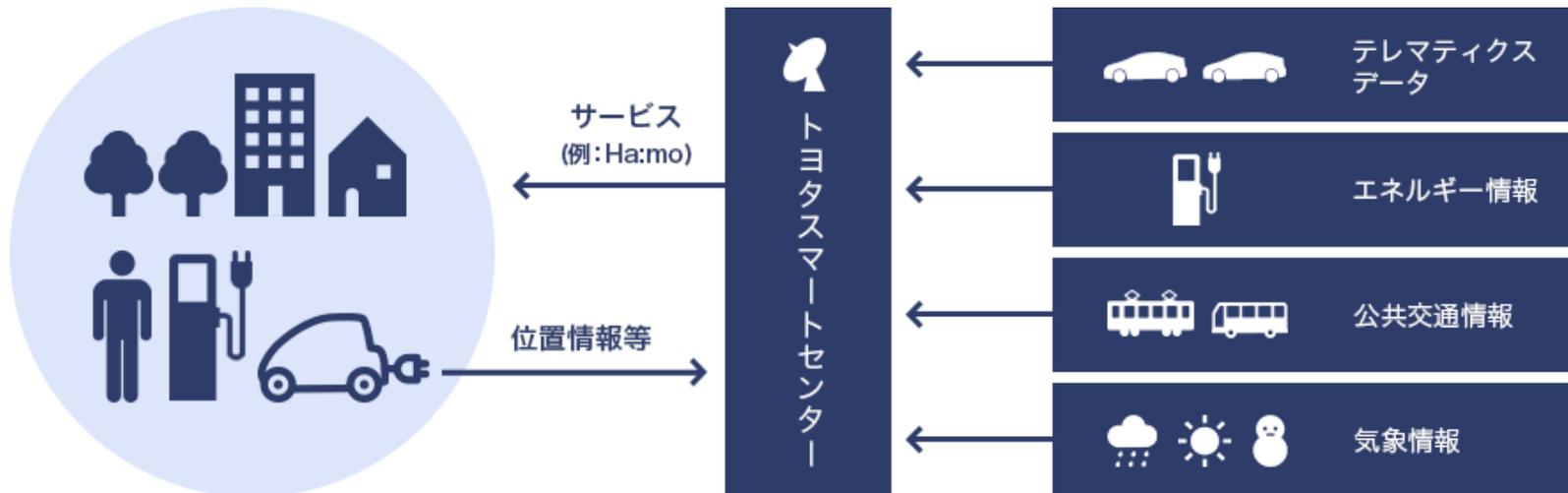
● 電動車椅子



■トヨタホームとの連携（開発テーマ）



●スマートコミュニティサービス



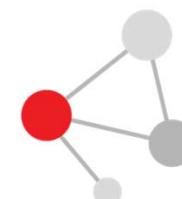
【トヨタ・リサーチ・インスティテュート】



人工知能と
コンピュータ科学



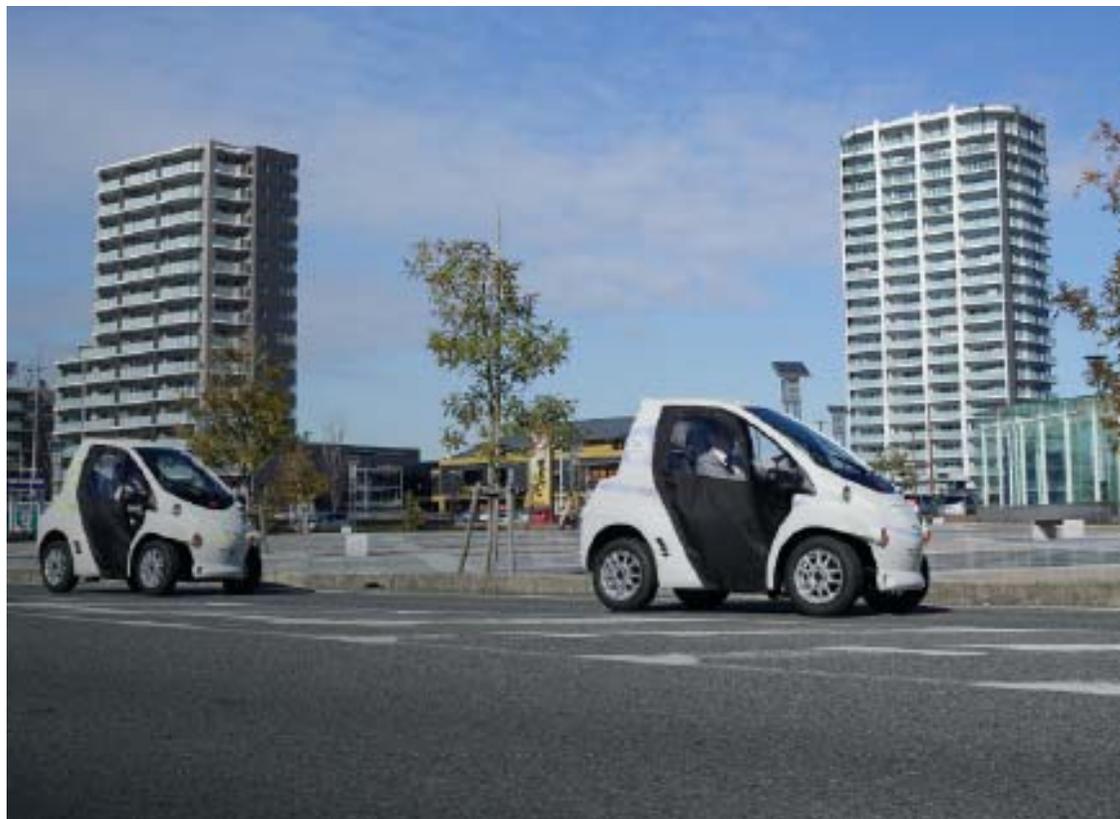
ホームロボットと
支援技術



材料設計

■トヨタホームとの連携(まちづくり)

○モビリティ連携のまちづくり

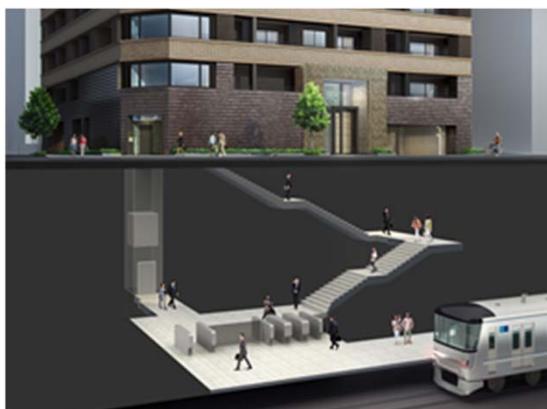
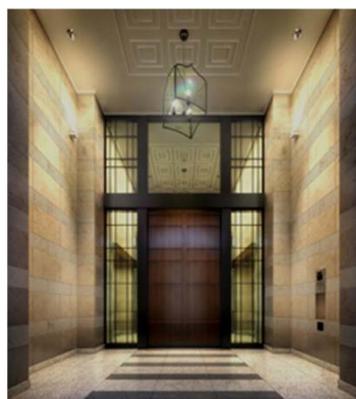


※豊田市実証実験 トヨタ自動車HPより

- 新しいニーズへ対応したまちづくり
- トヨタ関連企業のリソース活用
- ミサワホーム総合研究所と共同で調査・研究

■トヨタホームとの連携（マンション分譲）

○マンション共同開発（自動車ショールーム跡地の活用）



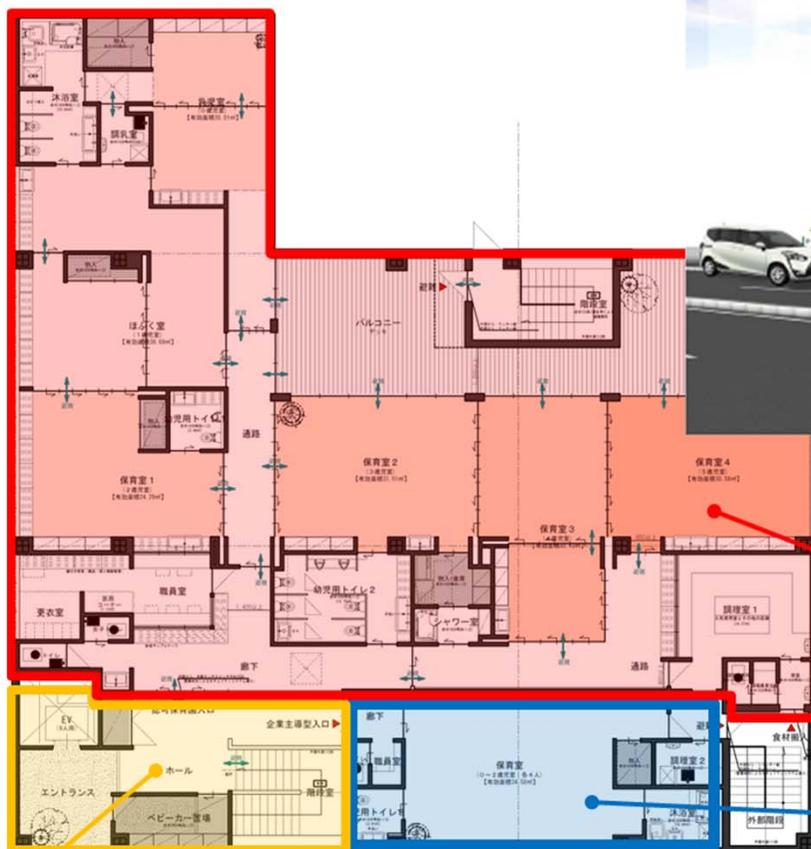
アネシア築地
ステーションレジデンス



アネシア東京尾久

トヨタホームとの連携（保育園）

○自動車ショールーム+保育所



認可保育所
面積：112坪
定員：60名
対象：0～5歳児

企業主導型保育所
面積：20坪
定員：12名
対象：0～2歳児

共用部（認可・企業主導型）

NEXT50

平成30年3月期 第2四半期 連結決算概要

■ 連結損益計算書

- 売上高 ・戸建分譲やマンション売上の減少により、前年比0.8%減の1,907億円
- 営業利益 ・売上高の減少を原価低減等でカバーし、前年比18.6%増の36億円

(単位:億円)	2017. 3期 第2四半期	2018. 3期 第2四半期	増 減	
			増 減	増減率
売上高	1,923	1,907	△16	△0.8%
売上原価	1,514	1,489	△24	△1.6%
売上総利益	409	417	8	2.0%
販売費及び一般管理費	378	380	2	0.6%
営業利益	31	36	5	18.6%
営業外損益	△1	1	2	-
経常利益	29	37	8	29.7%
特別損益	△2	△0	1	-
税金等調整前純利益	27	37	10	38.1%
税金費用	4	5	1	31.2%
非支配株主当期純利益	0	△0	△0	-
親会社株主当期純利益	23	33	9	43.3%

■部門別売上高

- 戸建住宅事業 ・注文住宅は増加したが、分譲住宅の減少により前年比10億円の減収
- 資産活用事業 ・賃貸住宅は増加したが、RC・SRC造の減少により前年比横ばい
- リフォーム事業 ・売上単価が減少したものの、メンテナンス受注の増加等により前年比横ばい
- まちづくり事業 ・マンション分譲の減少を賃貸管理や買取再販等でカバーし、前年比横ばい

(単位:億円)	売上高			
	2017. 3期 第2四半期	2018. 3期 第2四半期	増 減	増減率
注 文 住 宅	901	906	5	0.7%
分 譲 住 宅	110	102	△8	△0.4%
土 地	152	146	△6	△0.3%
戸 建 住 宅 事 業	1,165	1,154	△10	△0.9%
賃 貸 住 宅	169	184	14	0.8%
R C ・ S R C 造	66	51	△14	△0.7%
資 産 活 用 事 業	236	236	0	0.0%
リ フ ォ ー ム 事 業	305	303	△1	△0.6%
ま ち づ く り 事 業	145	144	0	△0.6%
そ の 他 事 業	71	67	△3	△4.9%
合 計	1,923	1,907	△16	△0.8%

■売上戸数

- 注文住宅 ・前下期の受注減が影響し、前年比1.8%減の3,064戸
- 分譲住宅 ・販売物件数の減少により、前年比10.6%減の429戸
- 賃貸住宅 ・1棟あたり戸数が増加し、前年比18.1%増の1,386戸
- 特建・マンション ・前年の大型物件の反動減で、前年比20.4%減の327戸

	2017. 3期 第2四半期	2018. 3期 第2四半期	増 減	
				増減率
注 文 住 宅	3,120	3,064	△56	△1.8%
分 譲 住 宅	480	429	△51	△10.6%
賃 貸 住 宅	1,174	1,386	212	18.1%
特 建・マ ン シ ョ ン	411	327	△84	△20.4%
合 計	5,185	5,206	21	0.4%

■ 連結貸借対照表

- 資産 ・有形固定資産は増加したが、現預金、たな卸資産の減少等で前期末比48億円の減少
- 負債 ・支払手形・買掛金、有利子負債の減少等により前期末比71億円の減少
- 純資産 ・当期純利益から配当を差し引き、前期末比22億円の増加

(単位:億円)	2017.3 期末	2018. 3期 第2四半期末	増減	(単位:億円)	2017.3 期末	2018. 3期 第2四半期末	増減
現金及び預金	550	488	△61	負債	1,947	1,876	△71
受取手形及び売掛金	81	81	△0	支払手形・買掛金	424	366	△57
営業貸付金	96	91	△5	未成工事受入金	306	333	26
たな卸資産	840	826	△13	有利子負債	836	805	△30
分譲土地建物	461	434	△27	その他	380	371	△9
未成工事支出金	347	360	12	純資産	523	545	22
その他	30	32	1	株主資本	494	516	22
有形固定資産	561	597	36	その他包括利益	4	4	0
その他	341	336	△4	非支配株主持分	24	24	△0
資産合計	2,470	2,422	△48	負債及び純資産合計	2,470	2,422	△48

■ 受注戸数

- 注文住宅 ・復興住宅の収束と市場の落ち込みにより、前年比7.2%減の3,184戸
- 分譲住宅 ・首都圏近郊の大型分譲が好調により、前年比3.8%増の461戸
- 賃貸住宅 ・戸数の多い共同建てが増加し、前年比3.0%増の1,797戸
- 特建・マンション ・前期の大型案件の反動により、前年比12.0%減の368戸

	2017. 3期 第2四半期	2018. 3期 第2四半期	増 減	
				増減率
注 文 住 宅	3,430	3,184	△246	△7.2%
分 譲 住 宅	444	461	17	3.8%
賃 貸 住 宅	1,745	1,797	52	3.0%
特 建・マ ン シ ョ ン	418	368	△50	△12.0%
合 計	6,037	5,810	△227	△3.8%

■ 受注高・受注残高

■ 受注高： 注文住宅の減少をまちづくり事業で補うが、前年比1.7%減の1,979億円

■ 受注残高： 注文住宅の受注減の影響で、前年比1.6%減の1,876億円

(単位:億円)	受注高				受注残高			
	2017. 3期 第2四半期	2018. 3期 第2四半期	増 減	増減率	2017. 3期 第2四半期	2018. 3期 第2四半期	増 減	増減率
注文住宅	972	881	△90	△9.3%	1,166	1,096	△69	△6.0%
分譲住宅	107	111	3	3.4%	17	31	13	76.0%
土地	152	152	△0	△0.2%	61	70	9	15.3%
戸建住宅事業	1,232	1,145	△87	△7.1%	1,245	1,198	△46	△3.7%
賃貸住宅	208	212	3	1.7%	346	376	30	8.9%
RC・SRC造	45	43	△1	△4.2%	98	92	△6	△6.5%
資産活用事業	254	255	1	0.6%	444	469	24	5.5%
リフォーム事業	318	313	△4	△1.5%	125	125	0	0.1%
まちづくり事業	136	195	59	43.4%	85	78	△7	△8.2%
その他事業	72	68	△3	△5.2%	6	3	△2	△35.1%
合計	2,014	1,979	△34	△1.7%	1,907	1,876	△31	△1.6%

平成30年3月期 連結決算計画

■ 受注戸数・売上戸数

■ 受注戸数 ・賃貸住宅の建設需要の一巡や前期の大型案件の反動減で、11,610戸を計画

■ 売上戸数 ・受注残の減少や前年の大型案件の反動減で、10,610戸を計画

■ 受注戸数

(単位:戸)	下期				通期			
	2017.3期	2018.3期	差異	増減率	2017.3期	2018.3期	差異	増減率
注文住宅	3,283	3,386	103	3.1%	6,713	6,570	△143	△2.1%
分譲住宅	424	459	35	8.3%	868	920	52	6.0%
賃貸住宅	1,909	1,643	△266	△13.9%	3,654	3,440	△214	△5.9%
特建・マンション	408	312	△96	△23.5%	826	680	△146	△17.7%
合計	6,024	5,800	△224	△3.7%	12,061	11,610	△451	△3.7%

■ 売上戸数

(単位:戸)	下期				通期			
	2017.3期	2018.3期	差異	増減率	2017.3期	2018.3期	差異	増減率
注文住宅	3,261	3,086	△175	△5.4%	6,381	6,150	△231	△3.6%
分譲住宅	386	431	45	11.7%	866	860	△6	△0.7%
賃貸住宅	1,693	1,534	△159	△9.4%	2,867	2,920	53	1.8%
特建・マンション	683	353	△330	△48.3%	1,094	680	△414	△37.8%
合計	6,023	5,404	△619	△10.3%	11,208	10,610	△598	△5.3%

■ 連結損益計画

■ 売上高 上期の受注環境を受け、前年比2.2%減の3,910億円を計画

■ 営業利益 受注確保に向けた投資により、前年比16.7%減の70億円を計画

(単位:億円)	2017.3期 通期	2018.3期 通期	増減		2018.3期 期初計画
			増減	増減率	
売上高	3,998	3,910	△88	△2.2%	4,000
売上原価	3,136	3,055	△81	△2.6%	3,135
売上総利益 (利益率)	862 (21.6%)	855 (21.9%)	△7 -	△0.8% -	865 (21.6%)
販売費及び一般管理費	778	785	7	0.9%	795
営業利益 (利益率)	84 (2.1%)	70 (1.8%)	△14 -	△16.7% -	70 (1.8%)
営業外損益	△2	△5	△3	-	△5
経常利益 (利益率)	81 (2.0%)	65 (1.7%)	△16 -	△20.2% -	65 (1.6%)
特別損益	△20	△10	10	-	△10
税金等調整前純利益	60	55	△5	△9.4%	55
税金費用	14	15	1	-	15
非支配株主当期純利益	1	0	△1	-	0
親会社株主当期純利益	44	40	△4	△9.6%	40

■部門別売上高計画

- 戸建住宅事業 ・注文住宅の受注残戸数の減少により、前年比56億円の減収
- 資産活用事業 ・外壁タイルやMGEOを搭載した単価の高い賃貸住宅増により、前年比10億円の増収
- リフォーム事業 ・売上単価の減少を見込み、前年比3億円の減収
- まちづくり事業 ・前下期の大型マンションの反動減により、前年比43億円の減収
- その他事業 ・関連会社の外販売上増などにより、前年比6億円の増収

(単位:億円)	2017.3期		2018.3期 計画						2018.3期 期初計画	
	通期	構成比	上期	構成比	下期	構成比	通期	構成比	通期	構成比
戸建住宅事業	2,346	58.7%	1,154	60.5%	1,136	56.7%	2,290	58.6%	2,345	58.6%
資産活用事業	510	12.8%	236	12.4%	284	14.1%	520	13.3%	530	13.3%
リフォーム事業	623	15.6%	303	15.9%	317	15.8%	620	15.9%	630	15.8%
まちづくり事業	373	9.3%	144	7.6%	186	9.2%	330	8.4%	325	8.1%
その他事業	144	3.6%	67	3.6%	83	4.1%	150	3.8%	170	4.2%
合計	3,998	100.0%	1,907	100.0%	2,003	100.0%	3,910	100.0%	4,000	100.0%

※2017.3期のセグメント別売上は精査の結果、既発表の数値より変動しています。

本資料に記載の業績見通し及び将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績等は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございます。

—お問い合わせ先—

ミサワホーム株式会社
経営企画部 コーポレートコミュニケーション課
TEL : 03-3349-8088
FAX : 03-5381-7838
URL : <http://www.misawa.co.jp>